

# 1) 慢性透析療法の現況

## (1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

調査対象施設数	4,396施設	(16施設増 0.4%増)
回答施設数	4,336施設	(15施設増 0.3%増)
設 備	ベッドサイドコンソール	135,211台 (1,673台増 1.3%増)
能 力	同時透析	133,500人 (1,986人増 1.5%増)
	最大収容能力	444,192人 (5,801人増 1.3%増)
慢性透析患者		329,609人 (4,623人増)

※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

人口100万対比	2,596.7人	(39.7人増)
----------	----------	----------

治療方法		通院	入院	合計
血液透析等	血液透析 (HD)	215,858人 (72.1%)	25,827人 (85.3%)	241,685人 (73.3%)
	血液透析濾過 (HDF)	72,959人 (24.4%)	3,877人 (12.8%)	76,836人 (23.3%)
	血液濾過 (HF)	19人 (0.0%)	7人 (0.0%)	26人 (0.0%)
	血液吸着透析	1,360人 (0.5%)	46人 (0.2%)	1,406人 (0.4%)
	在宅血液透析 (HHD)	633人 (0.2%)	2人 (0.0%)	635人 (0.2%)
腹膜透析等	腹膜透析 (PD)	6,722人 (2.2%)	468人 (1.5%)	7,190人 (2.2%)
	週1回のHD (F) 等との併用	1,521人 (0.5%)	39人 (0.1%)	1,560人 (0.5%)
	週2回のHD (F) 等との併用	165人 (0.1%)	4人 (0.0%)	169人 (0.1%)
	週3回のHD (F) 等との併用	33人 (0.0%)	5人 (0.0%)	38人 (0.0%)
	上記以外の併用	61人 (0.0%)	3人 (0.0%)	64人 (0.0%)
	小計	8,502人 (2.8%)	519人 (1.7%)	9,021人 (2.7%)
2016年末透析患者総数		299,331人 (100.0%)	30,278人 (100.0%)	329,609人 (100.0%)

2016年末透析患者のうち、夜間透析患者数	32,431人	(9.8%)
-----------------------	---------	--------

2016年 HD (F) 等で新規に透析導入した患者数	37,398人
-----------------------------	---------

2016年 PDで新規に透析導入した患者数	1,946人
-----------------------	--------

2016年 新規導入患者総数	39,344人	(118人減 0.3%減)
----------------	---------	---------------

2016年 透析患者死亡数	31,790人	(722人増 2.3%増)
---------------	---------	---------------

施設調査による集計

### 解説

2016年の統計調査は全国4,396施設を対象に実施され、4,336施設から回答が得られた。回答施設数は2015年にいったん減少したが（9施設減、0.2%減）、2016年は増加した（15施設増、0.3%増）。2015年調査から匿名化強化をした影響による回収率低下が危惧されたが、2016年も98.6%と依然高い回収率を維持することができた。回答のあった4,336施設にはベッドサイドコンソールは135,211台あり、同時透析可能人数は133,500人、最大収容能力は444,192人であり、それぞれ2015年と比較して、1,673台増（1.3%増）、1,986人増（1.5%増）、5,801人増（1.3%増）であった。

急速に増加しつつある血液透析濾過（HDF）療法などを考慮して、2015年調査より治療方法に関する集計方法を変更した。それぞれの治療方法の全体に占める割合は、血液透析（HD）73.3%、HDF 23.3%、血液濾過（HF）0.0%、血液吸着透析0.4%、腹膜透析（PD）2.7%、在宅血液透析（HHD）0.2%であった。PDとHHDを足したわが国の在宅透析の比率は2.9%であり、これは先進諸国の中では最も低い範疇である。2012年のon-line HDFに対する診療報酬の改定から、HDF患者数は急激に増加し、2016年ではHDF全体で76,836人に達した。PD患者数は9,021人であり、2015年の9,322人より約300人減少した。PDのうち20.3%がHD（F）との併用療法であり、この割合はここ5年間ほぼ一定である。HHDの患者数は635人と2015年から63人の増加（11.0%増）であり、増加率は大きい治療全体に占める比率はまだ小さい。夜間透析患者数は2016年で32,431人であり、2015年の33,370人より減少している。夜間透析患者数はここ数年41,000～42,000人で推移してきたが、2015年に大きく減少した。これは2015年調査において、夜間透析の患者数の記載方法が変更され、さらに回答欄の注釈に夜間透析患者の定義として「保険で認められる時間帯（午後5時以降開始もしくは午後9時以降終了）の透析です。」と追記されたことが影響を与えた可能性がある。施設調査票に基づく新規導入患者総数は39,344人で、HD（F）等による新規導入は95.1%、PDで新規導入は4.9%であった。これも、HD（F）等で新規導入、PDで新規導入との記載方法を変更したことが集計値に影響を与えた可能性がある。